

#### ◆概要

本アプリケーションは、ファイルやディレクトリのコピーをジョブとして複数登録し、実行します。

#### ◆動作環境

- ・ 本アプリケーションは、Windows7/XPがインストールされたPCにおいて動作を確認しております。
- ・ 起動には.NetFrameWork4.5(あるいはそれ以上のバージョン)がインストールされている必要があります。

#### ◆インストールとアンインストール

解凍したフォルダ内のexeファイルから起動します。  
お使いのPCのレジストリに変更を加えることはありませんので  
アンインストールはexeファイルを削除すれば完了します。

◆各部の説明



- ①: xmlファイルに記録されているジョブ群を読み込みます。
- ②: 現在登録されているジョブ群をxmlファイルに書き込み保存します。
- ③: 現在登録されているジョブ群のうち、該当番号のジョブを表示します。上下ボタンで表示するジョブを変更します。
- ④: アプリの設定項目です。
- ⑤: コピー設定項目です。
- ⑥: コピー元のファイル(ディレクトリ)名をココに入力(もしくはドラッグ&ドロップ)します。
- ⑦: コピー先のファイル(ディレクトリ)名をココに入力(もしくはドラッグ&ドロップ)します。
- ⑧: 現在登録されているジョブ群を実行します。
- ⑨: 現在表示されているジョブをジョブ群に登録します。
- ⑩: 現在表示されているジョブをジョブ群から削除します。
- ⑪: コピー元のファイル名とコピー先のファイル名を入れ替えます。
- ⑫: このボックスへ入力されている正規表現パターンにマッチするファイルのみに処理を行います(空白なら全てのファイルに対して行う)
- ⑬: ジョブの実行時、進捗状況やエラーログが表示されます。
- ⑭: コピー先コンボボックスに表示されているファイル(ディレクトリ)をエクスプローラーで開きます。
- ⑮: コピー元コンボボックスに表示されているファイル(ディレクトリ)をエクスプローラーで開きます。

#### ◆コピー設定項目の説明

##### 『エラーを無視する』

エラー発生時、ジョブの実行を継続します。  
この項目にチェックがない場合は、ダイアログが出て止まります。  
※エラー詳細は終了後にログとして表示されます。

##### 『コピー後にコピー元を削除する』

ファイル(ディレクトリ)の移動を行います。

##### 『常にファイルを上書き』

コピー先に同名のファイルが存在する時、常に上書きします。

##### 『サイズが大きければ上書き』

コピー先に同名のファイルが存在する時  
コピー元のファイルの方がサイズが大きければ上書きします。

##### 『更新日が新しければ上書き』

コピー先に同名のファイルが存在する時  
コピー元のファイルの方が更新日が新しければ上書きします。

#### ◆使用時の主な流れ

1. コピー元・コピー先のファイル名を  
上図⑥と⑦のコンボボックスへ入力(もしくはドラッグ&ドロップ)する。  
あるいは、①の“読込”を押して、実行したいジョブ群が登録されたxmlファイルを開く。  
※xmlファイルから読み込みを行った場合、そのジョブ群は既に登録済みです。
2. ⑨の“登録”ボタンを押して、実行するジョブ群へ登録する。  
※コピー設定等の変更を行った場合、新たにジョブ群へ登録する必要があります。  
※“ジョブ合計”欄には現在ジョブ群へ登録されているジョブの合計数が表示されます。
3. ③の上下ボタンで実行するジョブ群の各ジョブを確認する。  
※⑥⑦のコンボボックスと⑤のコピー設定が該当番号のジョブに切り替わります。
4. 実行したくないジョブが登録されている場合は  
⑩の“削除”ボタンを押して該当番号のジョブをジョブ群から削除します。
5. ⑧の“実行”ボタンを押してジョブ群を実行します。
6. コピーの進捗状況や、エラーログは⑬へ表示されます。
7. 現在登録しているジョブ群を保存したい場合は  
②の“書込”を押して、xmlファイルとして保存する。

#### ◆その他の機能

コピー先ファイル名の拡張子を「.zip」にすると  
Zip圧縮します。